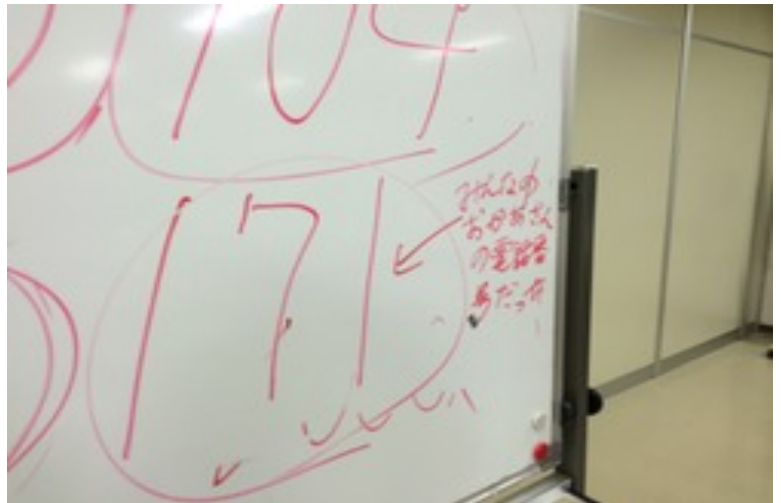


## 【活動レポート】9/11 府中国際交流サロン児童学習支援避難訓練を実施しました



(上:市民ボランティアによる防災クイズ、左下:府中市職員による説明、右下:伝言ダイヤルの番号を子どもが「みんなのお母さんの電話だよ」と教えてくれました。)

先日のくりふの活動では、府中市の方の主催で地震の避難訓練が行われました。

実際に訓練を始める前に、地震の際の避難に関するクイズを出してもらいました。絵カードを用いて出題していただいたので、子どもたちにもわかりやすく伝わったと思います。私も知らないことがいくつかあり、地震に対する知識が深まりました。

そして、実際に地震が起きたことを想定して訓練を行いました。地震を知らせる笛が鳴ると、子どもたちはすぐに机の下にもぐり、指示通りに動くことができました。教えてもらったことが身につけていたので良かったです。

最後に、非常食としてクラッカーを配っていただき、この日の訓練は終了しました。子どもたちが帰った後、学生は避難場所である小学校までの経路と、その際注意すべき場所を教えてもらいました。

私自身、ここ最近避難訓練はしていなかったので、新たな発見があったり、災害の恐ろしさを改めて実感できるいい機会でした。子どもたちだけでなく学生にとっても意味のある訓練だったと思います。今後、地震に遭遇することも多いでしょうが、今回の訓練を思い出して慌てずに対応したいと思います。

(国際社会学部フランス語専攻1年 清水 伊知代、荒木 大岳)

\* \* \* \* \*

9月11日のくりふの活動では、大人のボランティアさんの声かけにより、府中市主催で初めての避難訓練を行いました。これに先立ち、学生コーディネーターと大人のボランティアの代表の方、市の職員の方で初の顔合わせ、打ち合わせを行いました。

府中市のサロンを利用して同じく大人の方向けにボランティアを行っている皆さんとは、活動時間があまり被らないということもあり、今まで接点がありませんでした。

そこで自覚のないうちに、学生ボランティア側に積極的に関わろうという姿勢がないと思われてしまっていたこともあり、最初の顔合わせではもう少し積極的に関わって欲しいという要望に、正直驚きました。

同じ場で活動しているので、お互いへの声かけなど、大事だと思いました。

実際に災害が起きた際学生ボランティアが困らないように色々考えてくださり、私たちだけでは思いつかなかった問題点に気づくこともでき、大変助けて頂きました。

実際の避難訓練では、大人のボランティアを行っていらっしゃる野川さん、桑島さんが災害時の注意、どう行動すべきかを説明してくださいました。自身の経験も含めた貴重なお話に、子供たちだけではなく、学生の私たちにも学ぶべき点が多くありました。

私が今回の活動を通して感じたことは、市の職員の方、大人のボランティアの方、学生ボランティア、それぞれにしか分からないことがある時、意見を互いに交換し合うことがとても大切だなということでした。活動している場が違うため、お互いに分からないことがあるのは当然なので、今回のようにお話出来て、とても良かったです。

災害が実際に起きたとき、どのように行動すればよいのか、何に注意すればよいのか、多くのことを学び、くりふ自体のあり方をもう1度見直すことの出来た大変貴重な機会でした。

(国際社会学部アラビア語専攻2年 桑田早季子)

日時: 2015年09月24日